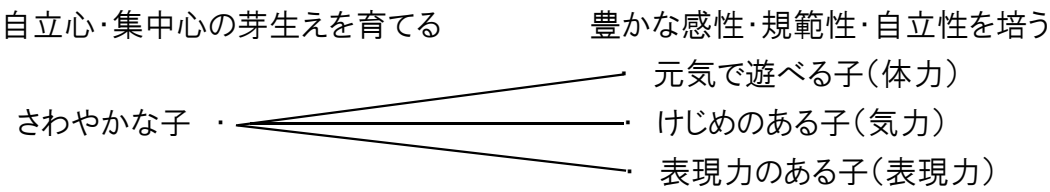


平成30年度 学校法人とくのう学園黒田幼稚園 学校評価

1. 本園の教育目標

(教育目標)



(学年目標)

- ・遊べる子(年少)
- ・夢中になれる子(年中)
- ・聞くことのできる子(年長)

(指導指針)

優しく、丁寧に、理を分け、可能な限り具体を通して納得のいく指導に努め、聞き入れる力・行動に移せる力を高める指導を進める。

(指導の重点)

- 望ましい環境構成に努め、園児の理想的な成長を促す
- ・生涯学習理念で教育を進める
- ・自立と共生、気力と体力の調和的発達を目指す
- ・「一園一学級」を旨とする
- ・小学校との連携を大切にする

(今後取り組むべき課題)

- ①園の思いを伝える努力と保護者の希望をくみ取る努力
- ②研修目標の明確化と徹底

2. 教師の自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

評価基準／A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない

(1) 保育の計画性

主な評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	取り組み状況	評価	ご意見・ご感想
指導計画は、園の方針を踏まえ、子どもの実態などを考慮して作成している。	B	＊子どもたちの発想を積極的に保育に取り入れ、クラスの個性が出せるようになった。 ＊子ども達の発達段階に合わせ、興味関心を持たせ楽しく取り組みそうなことを考えながら計画している。	B	＊整備された良い環境の中、先生方の明るく優しいまなざしに包まれた園生活、変わらぬ愛情で子ども達の安全に気を配る送迎など、いつも見守られている子どもたちはとても幸せだと思う。
子どもの記録を大切にし、次の保育に生かしている。	B	＊記録をしっかりと、良い所を伸ばしたり、どんな指導がその子には必要なのか考え保育している。 ＊短期間の現れだけでなく、記録を見返して一人ひとりの成長や変化の様子がより把握できるよう努めている。	A	

(2)保育の在り方 幼児の対応

子どもの健康と安全には、常に配慮している。	B	＊常に配慮をしながら安全に楽しく過ごせるよう努めているが、思わぬ怪我などもある。 ＊日々の視診を心掛け、怪我のない環境づくりに努めている。	A	＊体調不良明けで登園した日や、保育中の少しの怪我でも丁寧に伝えてくれてありがたい。思わぬケガが起きてしまうことは仕方がないので、対策を考え、職員全員が把握できる「危険個所見える化マップ」などを作成するとよい。 ＊小さなことでも心配なことがあったときは、自宅に電話をもらった。どの先生も同じ対応だった。
子どもが好きである。子どもに共感し、一人ひとりの良さを認めている。	A	＊良いところを沢山みつけて誉めるようにしている。子どもの喜びと一緒に味わい、愛情をもって職員全員で保育している。 ＊子どもと関われば関わるほどその子らしさが見え、一人ひとりがとても魅力的だ。	A	＊「主任の先生はやはりさすがだな」と思うことが多々あった。たくさんの園児がいる中で、そんな些細なことまで見てくれているんだと心が温まった。
個と集団を大切にしたい保育を行っている。	B	＊個と集団どちらかに偏ってしまうことがあり、バランスに苦戦してしまう時もある。 ＊一人ひとりの成長、集団の中でこそ伸びる成長を大切にしていけるよう心掛けている。	B	＊子どもは幼稚園が大好きで安心してお任せしている。

(3)保育者としての質の向上のための努力・良識

幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を多くしようと心がけている。	B	＊他の先生の保育を見て学べることはたくさんある。なかなか自分のものとして実践できていないので、今後学んだことを実践したい。 ＊先輩の先生方の声掛けや、保育を日々自分のものとし精進する日々です。	A	＊自分たちで評価し、改善していくことで保育の質が向上していくと思う。さらにより幼稚園になるよう期待している。
守秘義務を果たしている。	A	＊常に意識することを心掛けている。 ＊決められた事は守っています。	A	

(4)保護者への対応

園だより、クラスだよりなどを通して子どもの様子・教育内容を発信している。	A	＊パソコン化したことにより、保護者がどう思っているか少し気になる。 ＊クラスだよりでは実際に子どもたちが発言した生の言葉を載せている。	A	＊先生たちも忙しいので、時間短縮のためのパソコン化はよいことだと思う。クラスの様子を毎回詳しく載せてくれてあり、嬉しい。 ＊パソコンでも問題ない。一部手書きなどがあればなお嬉しい。
保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの様子を共通理解している。	B	＊なるべく保護者と話をする機会を作るようにしているけれど、朝の受入れの場所が変わり、バスに乗っている子はあまり話することができない。 ＊保護者と会う機会は減ってしまったけれど、会えた時には成長した所や、かわいいエピソードを話せるようにしている。	A	＊担任だけでなく学年主任やバスのおじちゃんはもちろん、園長先生・副園長先生までが子どもの事を話してくれて、本当によく指導してくれているんだと感じている。 ＊様子を聞く機会があることは、困ったことがあったときに相談をしやすくなってよい。

(5)地域の自然・社会との関わり

地域の自然や施設・機関を保育に活用している。	B	＊地域・社会との関わりをもう少し増やしていけるように、保育計画を見直し検討しながら子どもたちにもっと自然に触れ合う機会や自発的な行動や発想ができる環境を整えていきたい。 ＊川が流れていたり、どんぐりや草花が近くにある中、日常保育の中では活用できていない気がする。来年度はもっと活用したい。	B	＊自然に触れる機会がもう少しあるとよい。園近くにも自然が多くあるので利用できないか。 ＊地域や社会とのつながりがある活動や体験を行事として行うとよい。
------------------------	---	---	---	--

(6)研修への取り組み

年に一回以上は外部研修に参加し保育に役立てている。	A	＊毎回実になる研修で、自分の保育を振り返りながら、学んだことは保育に活用している。 ＊研修は保育の学びの場になる。他園の良いところを知る機会にもなり行くたびにとても勉強になる。	A	＊研修に行って他園の教育を見たり、勉強する機会が年一回必ずあるのはよいことだ。
本園の研修主題に沿った保育を実践することにより、子どもを深く理解し、成果に繋げる努力をしている。	B	＊「自己肯定感」を育てるために愛を注ぎ、その子自身を受け止め褒めるように心がける。時には叱ることもあるが、子どもたちが大人になった時に今行っている指導がその子自身の基盤になってくれたらうれしい。 ＊製作面では、毎回学年で話し合い子どもの真の姿が見えるように心がけている。子どもの意見を取り入れる場面が増えた。	B	＊先生方が「一園一学級」の理念のもと目配り・気配りしているのが、普段の何気ない会話や行事での関わりを通して感じることができ、本当にありがたい。

(7)園運営

子ども達が育つ園行事を企画し実施している。	A	＊行事を終えるごとに、子どもの成長やクラスの団結する姿、また行事に向かって楽しそうに取り組む姿を見ることができた。 ＊学年に合わせた取り組みができていて、子どもの成長につながっている。	A	＊園での生活3年間がもう少しで終わるが、本当に1つ1つの行事が終わるたびに子どもの成長を大きく感じられた。 ＊幼児期だからこそ素直な心でいろいろなことを吸収できると思うので、もっと様々な体験をさせてあげたい。
園の思いを伝える努力と保護者の希望をくみ取る努力をしている。	A	＊保護者アンケートで、色々な意見を聞くことができ、今まで見えなかった保護者の本音を聞くことができてよかった。 ＊保護者アンケートを実施して園の方針や職員の思いと一致する意見は取り入れる努力をし、おたよりや保護者の集まりなどで園の思いを伝えている。	A	＊何のために行っているアンケートかの理由が保護者に伝わると必要性やよさが理解できる。本音や要望を伝える事ができて有意義だった。 ＊今年度はアンケートや「おひさま にこにこ」も発行してもらい、より先生方の思いが伝わった。アンケート結果を開示してもらうことで、様々な考えを知ることができ、保護者同士でも考えるきっかけになった。

3. 学校関係者評価委員からのその他のご意見・ご感想

＊自分が幼稚園児の頃は、園の近所のおじいちゃん・おばあちゃんと草花で色水を作ったり、昔の遊び(おはじきやめんこ)を教えてもらったりしてすごく楽しかった。 このような活動があってもよいのではないかな。 ＊保護者アンケートを行うのもよいと思うが、自分たちで黒田幼稚園を選んだのだから園の方針に従えばよいと思う。 ＊黒田幼稚園に通わせて良かったと心から思う。給食がもう少し温かければなおよかった。 ＊ご近所の皆様への気遣いにあたまが下がる。

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
＊保育の幅を広げるために地域の施設や自然環境を大いに利用する	・園外保育を見直し、園外活動の充実を図り日々の保育の質を高める。 （近隣の施設・・・富士山世界遺産・消防署・浅間大社など）
＊食育の推進を図る。	・温かい給食・バラエティーに富んだ給食・質の高いおやつを提供をする。 ・給食のできるまでを知ることにより、食への関心を持つ。 ・栽培を通して植物を身近に感じる。